



内閣府

解 禁	新聞・テレビ・ラジオ
	平成30年 7月11日

入札監視委員会の審議概要について

記者発表資料

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成30年度第1回)が、平成30年6月19日(火)に沖縄総合事務局において開催されました。
審議内容は別紙のとおりです。

平成30年7月11日

沖縄総合事務局

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局開発建設部管理課 契約管理官 金田 好章

契約第一係長 琴岡 稔幸

代表 098-866-0031 (内線 2356・2526)

直通 098-866-1981

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成30年度第1回) 審議概要

開催日及び場所	平成30年6月19日(火) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室		
委員	委員長 小倉 暢之 (琉球大学工学部教授) 委員 鈴木 啓子 (税理士) 委員 田村 ゆかり (弁護士) 委員 仲地 健 (沖縄国際大学産業情報学部教授) 委員 中村 真也 (琉球大学農学部教授) (委員は50音順:敬称略)		
審議対象期間	平成30年1月1日～平成30年3月31日		
抽出案件	総件数 5 件	(備考)	
工事	一般競争 (政府調達)	1 件	○ 入札・契約の状況等、工種別発注状況等並びに指名停止・再度入札の発生状況について報告を行った。
	一般競争	1 件	
	公募型指名競争	0 件	
	工事希望型競争	0 件	
	通常指名競争	0 件	
	随意契約	1 件	
建設コンサルタント業務等	2 件		
役務の提供等及び物品の製造等	0 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし		

(別紙)

意見・質問	回答
定例報告	
1 入札・契約に関する状況等	
2 対象期間における発注案件について	
3 指名停止措置の運用状況	
4 再度入札における工事別一位不動状況	
5 一者入札推移	
抽出事案	
1 工事 ◆ 平良港(防波堤外地区)岸壁(-10.0m)ジャケット工事 ○ 調査基準価格を下回った2者が追加資料の提出を辞退しているが、当該資料の提出は業者にとって負担ではないか。 ○ 各者の技術評価点の差はどのようなところで付いたのか。 ◆ 宮古島地方気象台(H29)電気設備その他改修工事 ○ 1者しか参加表明していないが、どのような理由が考えられるか。 ◆ 平成29年度泉崎歩道橋修繕工事 ○ 欠格理由が、必要書類を付け忘れて競争参加資格無しとされているが、当該書類の提出を促すことはしないのか。	・ 調査基準価格未満の入札を行った者には、品質が確保できるのか詳細に確認する必要があるため、発注者側としても資料を求める必要がある。 ・ 塗装や溶接等の品質を確保する工夫の善し悪しで評価に差が付いている。 ・ 沖縄県内では民間を含めた建築工事が活況であることに加えて、本件が小規模の改修工事であること、施工場所が離島であることが考えられる。 ・ 書類不備の場合は欠格としており、そのような対応はしない。
2 建設コンサルタント業務等 ◆ 平成29年度胡屋北道路用地調査等(その2)業務 ○ 6者参加表明していたにもかかわらず、1者のみしか入札していないのはなぜか。 ◆ 竹富南航路周辺環境影響調査業務 ○ 本件の参加要件が厳しいと言うことはないか。 ○ 入札方式について、総合評価方式「簡易型」となっているが、簡易ではないものとの違いは何か。	・ 確認したところでは、参加表明時以降、予定技術者が病気で配置が困難になった、工期内での業務完了が困難と判断した等が主な理由であった。 ・ 昨年も同様の業務を発注したが、2者の応募があった。 ・ 発注業務の難易度を判断する区分や基準が定められており、難易度によって価格と技術評価の割合が変わってくる。